

三郡山・仏頂山 ～宝満山系ひとまわり～

【報告者】T橋

【日時】2018年10月20日 【天候】晴れ

【参加者】T橋

《コースタイム》

竈門神社 0530－有智山城跡－難所ヶ滝 0820－三郡山 0915－仏頂山 1000－堤谷登山口 1100－大谷登山口 1110－鳥越峠－愛嶽山 1145－竈門神社 1210

《 報 告 》

今年は飯豊山系の雄大な稜線と紅葉を楽しめたが、それはそれで逆に見通しを遮るような木々が生きられない厳しい環境ということ。そう考えると日差しを遮る稜線の木々やしっとりした苔が、やけにありがたいものに思えてくる。思い立ったらすぐ行ける距離にある宝満山ってお宝だなと。

とはいえ正面登山道では目の前の石段をずっと見つめるパターンになりそうなので、そのあたりを避けてなるべく静かに浸れるようなルートを考えてみた。

朝の誰もいない九重原からさっそく樹林帯を登っていく。同じ山域とはいえ石段ルートとはまったく違う雰囲気が新鮮。うさぎ道から河原谷にいったん下ると、沢と苔がやさしく迎えてくれる。シーズン外の黒光りした難所ヶ滝でゆっくり朝ごはんを食べ、少しだけ赤味がかかった木々を見上げながら縦走路に出る。

仏頂山からキャンプセンターには向かわず、裏宝満方面へ下る。こちらは「普池の窟」「金の水」それから堤谷と、いっそう豊富な水を感じられるルート（滑るが…）。シラハケ尾根では何人かとすれ違い、意外な人気にびっくり。手が入った植林帯を下り、林道を経由してから今度は愛嶽山に向かって登り返す。荒れてしまった愛嶽神社に手を合わせ、その先から九電の巡視路ルートで降りていくと、竈門神社にダイレクトに戻ってくる。寸前までの静けさがウソのような参拝客の賑わいだった。

